

## 登熟早い！刈り頃になったらすぐに刈取りをスタート！

出穂後高温が続いており、今後も高温傾向が続く見込み



○積算気温による刈取始めの目安を 50℃前倒し（はえぬき 900℃～）

○刈遅れ防止のため晩限の目安も 50℃前倒し（はえぬき 1,150℃）

**例年以上に計画的な収穫作業が必要です。速やかに刈取り準備を進めましょう。**

### 籾数は平年並～やや多く、登熟進度早い

○出穂は、平坦部「はえぬき」が8月3日頃、「雪若丸」が8月3日頃、「つや姫」、「コシヒカリ」が8月11日頃と概ね平年より1日遅れとなりました。

○m<sup>2</sup>あたり籾数は各品種とも、平年並～やや多い状況ですが、圃場間でバラつきがみられます。

○出穂後の高温・多照により登熟は進んでいます。

農業技術普及課 生育診断圃（飯豊町椿） 穂揃期の生育・登熟状況

品種	年次	出穂期	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	1穂籾数 (粒)	m <sup>2</sup> あたり籾数 (百粒/m <sup>2</sup> )	葉色 (SPAD)	登熟歩合(%) 8月31日現在
はえぬき	R2	8/2	550	69.5	382	36.8	86.4
	R1	8/3	558	71.6	421	33.3	61.2
	平年	8/4	552	71.4	390	35.7	54.1
	平年比・差	-2	100	97	98	+1.1	+32.3
つや姫	R2	8/11	462	73.9	341	34.0	43.0
	R1	8/10	506	74.0	374	32.3	40.3
	平年	8/10	447	69.8	333	33.1	29.0
	平年比・差	+1	103	106	103	+0.9	+14.0
雪若丸	R2	8/3	607	66.7	405	38.1	82.9
	R1	8/2	645	55.9	361	36.2	70.0
	指標	8/2	560	54.0	300	36.0	-
	指標比・差	+1	108	124	135	+2.1	-



<http://agrin.jp/> 会員登録を！

地域の農業に役立つ最新情報を得られます。  
この機会に是非、会員登録をお願いします。



## 刈取りを速やかにスタート！

○刈取りは、出穂後の積算気温（下表）を目安とし、品種、ほ場ごとに

- ①刈始めの青籾歩合、②籾水分（25%以下）、③枝梗の黄化（3分の2以上）等を確認し、刈取開始時期を見極めましょう。

出穂後積算気温による刈取適期の目安（平坦：長井アメダス、中山間：高峰アメダス）

品種名	積算気温	刈始めの青籾歩合	出穂期（本年）	刈取り時期の目安
ひとめぼれ	900～ <b>1,050℃</b>	15%	8月1日頃	9月6日～9月13日
雪若丸	900～ <b>1,150℃</b>	20%	8月3日頃	9月8日～9月21日
はえぬき（平坦）	900～ <b>1,150℃</b>	20%	8月3日頃	9月8日～9月21日
はえぬき（中山間）			8月5日頃	9月12日～9月25日
つや姫	950～ <b>1,150℃</b>	15%	8月11日頃	9月22日～10月3日
コシヒカリ	950～ <b>1,150℃</b>	15%	8月11日頃	9月22日～10月3日

※9月3日まで実測値、以降は平年値の平均気温を使用。

※出穂後30日間の平均気温が25℃以上の見込みのため、積算気温による目安を50℃前倒し。

## 乾燥・調製は慎重に！

- 収穫後は、速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風・循環を行い、ヤケ米の発生を防ぎます。
- 高水分籾（水分25%以上）を急激に乾燥すると胴割れしやすくなるので注意が必要です。青籾が多い（籾水分のバラつきが多い）場合は、「水分の戻り」に注意し、「夜間休止乾燥」や「二段乾燥」を行いましょう。
- 籾すりは、籾を十分放冷し、適正水分であることを確認してから行います。籾すり前に必ず試しすりを行い、肌ずれや胴割れの発生を防ぎましょう。
- 良質米生産のために、1.90mm網目（LL）以上で選別します。

## 雑草イネの発生に注意！

穂を触ったら籾がポロポロ落ちる、

玄米に赤米が混じる場合は雑草イネの可能性大！

置賜地域で主に赤いノゲが特徴の「背高型」と栽培品種とほぼ見た目が一緒の「擬態型」の2種の雑草イネが確認されています。

雑草イネを見つけた場合は、すぐに最寄りの普及課やJAにご相談ください。



## STOP！農作業事故！～秋季農作業事故防止強化期間中～

- 収穫期はコンバインの事故が多発します。補助者の事故にも要注意。
- コンバインの詰まり除去や修理の際は、必ずエンジンを止めてから行いましょう。